

例年にない猛暑に見舞われた本村も、朝夕はめっきりと過ごしやすい季節となりました。農家の皆さんが、災害を乗り越え丹精を込めて育てた稲穂が黄金色となり収穫の時期を迎えています。一方で今年も、西日本豪雨、台風21号、北海道地震など、昨年に引続き全国各地で甚大な災害が発生しました。本村の災害復旧工事も一步一步ではありますが着実に進んでおり、今後も自然災害に負けない地域の強靱化に取り組んでまいります。

この「村長ナビ」では、村外での行事等を中心に皆さんにお知らせ致します。

8月20日、平成30年第2回甘木・朝倉・三井環境施設組合議会定例会に出席。平成29年度の決算並びに平成30年度補正予算が承認されました。

21日、平成30年第2回甘木・朝倉広域市町村圏事務組合定例会に出席。平成29年度決算並びに平成30年度の事業及び予算が承認されました。

22日、村営住宅（復興住宅）の造成工事について、福岡県県営住宅課が来庁。敷地造成等について打合せを行いました。

25日、「筑後川の水と森と命を守る」を目指した「第32回筑後川フェスティバル in 日田」に参加。国土交通省を始め筑後川の恩恵を受けている各種団体等が集い、筑後川の流域とそこで暮らす人々や水、森林が育む生き物等について会議が開催されました。来年は東峰村で開催致します。

26日、政策研究大学院大学（防災・危機管理コース）の30名程が来村し、本迫川で発生した土石流の現場案内と状況説明をしました。

27日、国土交通省の「TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）」創設10周年記念シンポジウムが開催され、被災地の首長としてパネルディスカッションで本村の被災状況等を説明しました。

28日、山梨県町村会の首長一行が昨年の災害状況の視察で来庁。災害当日の反省点、今後の取り組みについて意見交換を行いました。



29日、27日に行われたJR九州社長の日田彦山線の復旧に関する記者会見の発言に抗議するため、

福岡県庁にて交通政策課と添田町長を交え協議。その後、3名の副知事との面談を行いJR九州への対応についてと早期復旧について協議しました。

30日、甘木・朝倉・三井環境施設組合入札会に出席。

31日、JR九州社長の定例記者会見での発言に対し、福岡県、大分県、添田町、日田市、東峰村が「緊急要請書」をJR九州本社に提出し発言に対する抗議を行いました。その後、自民党福岡県連会長、県議団会長に面談し、JR日田彦山線の早期復旧に対し要請を行いました。



9月2日、「手をつなごう朝倉防災プロジェクト」あさくら元気塾公開講座が開催され、昨年7月の豪雨災害の状況・復旧計画等について説明及び意見を述べました。

4日、JR日田彦山線の復旧並びにJR九州の対応に関して、読売新聞社の取材を受けました。

5日、アビスパ福岡の^{さわとう}實藤選手、堤選手から復興支援のため、東峰学園にサッカーボール30個、東峰村にサイン入りサッカーボールと支援金を寄贈して頂きました。

8日、八女市における平成24年九州北部豪雨災害復旧工事の完成に伴い竣工式典が開催されました。本村と朝倉市が特別招待を受け復旧に向けた激励と、見舞金を頂きました。



15日、自衛隊小郡駐屯地創設65周年、第5施設団創設57周年記念行事に出席。小郡駐屯地司令並びに施設団長に本村における昨年7月の災害派遣等の支援についてお礼を述べました。

稲刈りもそろそろ終わり、秋分を境に夜長の季節へと移行します。寒露の訪れとともに本格的な秋が山里にも始まり、山の木々は紅葉の季節を迎えます。

今後は、災害復旧・復興工事も本格的に進展すると思いますが、村民の皆様には収穫後の体調管理には、くれぐれも留意をしてお過ごし下さい。また、今後も村政へのご協力とご支援を宜しくお願い致します。

Photo Gallery

フォトギャラリー



収穫の秋



(上段) 秋の田園風景 (下段) 熟した柿



(左) 栗 / 竹林といぶき館 (右) ナス / どんぐり



小川に映えるイチョウ



(上段) 白鷺 / 秋桜 (下段) サザンカ / つゆ草

毎月23日は親子読書の日です。本を読みましょう。

東峰村公民館

編集・発行

東峰村役場企画政策課

福岡県朝倉郡東峰村大字宝珠山 6425

TEL 0946-72-2311 E-mail : kikaku@vill.toho.fukuoka.jp